

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【公開番号】特開 2009-120366 (P2009-120366A)
 【公開日】平成 21 年 6 月 4 日 (2009.6.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-022
 【出願番号】特願 2007-298181 (P2007-298181)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 21/00 (2006.01)

B 6 5 H 19/16 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 H 21/00

B 6 5 H 19/16

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 11 月 10 日 (2010.11.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

シートに画像を形成する画像形成部に、前記画像形成部により画像が所定の間隔を設けて連続して形成される連続シートを給送するシート給送装置において、

複数の連続シートを収納するシート収納部と、

前記シート収納部に収納された複数の連続シートを別々に、かつ順次前記画像形成部に搬送するための複数のシート搬送路と、

前記画像形成部のシート搬送方向上流で前記複数のシート搬送路が合流し、前記複数のシート搬送路から順次搬送された連続シートが通過する合流部と、

前記合流部において、先行して前記画像形成部に給送された連続シートの後端部と後続の連続シートの先端部とを重ねる重ね手段と、

を備えたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項 2】

前記シート収納部は連続シートをロール状に収納し、

前記重ね手段は、ロール状に収納されることでカールするシートの先端部を、先行する連続シートの後端部でカールした方向から押えるように重ねることを特徴とする請求項 1 に記載のシート給送装置。

【請求項 3】

前記重ね手段は、前記合流部に設けられ、連続シートの後端部が前記合流部を通過する際に突出すると共に、突出した際、連続シートの後端部を持ち上げる持ち上げ部と、前記持ち上げ部から下方に延在し、後続の連続シートの先端部を前記持ち上げ部により持ち上げられた連続シートの後端部の下方に入り込ませるようガイドするガイド部とを備えていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシート給送装置。

【請求項 4】

前記複数のシート搬送路に設けられ、連続シートの後端を検知する後端検知部と、

前記複数のシート搬送路に設けられ、連続シートを搬送するシート搬送手段と、を備え

、

前記後端検知部からの検知信号に基づき前記重ね手段を突出させると共に、後続の連続

シートを連続シートの後端部の下方に入り込ませるよう前記シート搬送手段を駆動することを特徴とする請求項３記載のシート給送装置。

【請求項５】

前記シート収納部の下部に収納された連続シートの後端部の下方に、前記シート収納部の上部に収納された後続の連続シートに入り込ませる際には、前記後続の連続シートのシート搬送速度を所定時間増加することを特徴とする請求項４記載のシート給送装置。

【請求項６】

前記合流部は、前記重ね手段が突出して連続シートの後端部を持ち上げた際、連続シートの後端部と接触しない上下方向の幅を有していることを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載のシート給送装置。

【請求項７】

シートに画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部に連続シートを給送する請求項１ないし６のいずれか１項に記載のシート給送装置とを備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明は、シートに画像を形成する画像形成部に、前記画像形成部により画像が所定の間隔を設けて連続して形成される連続シートを給送するシート給送装置において、複数の連続シートを収納するシート収納部と、前記シート収納部に収納された複数の連続シートを別々に、かつ順次前記画像形成部に搬送するための複数のシート搬送路と、前記画像形成部のシート搬送方向上流で前記複数のシート搬送路が合流し、前記複数のシート搬送路から順次搬送された連続シートが通過する合流部と、前記合流部において、先行して前記画像形成部に給送された連続シートの後端部と後続の連続シートの先端部とを重ねる重ね手段と、を備えたことを特徴とする。